

カリブ！それぞれのよさを感じよう！

氏名：菅原 奈津子

学校名：野木町立野木小学校

担当教科：全教科

実践教科：学・道・音・家・図

時間数：9 時間

対象学年：5 学年

人数：24 名

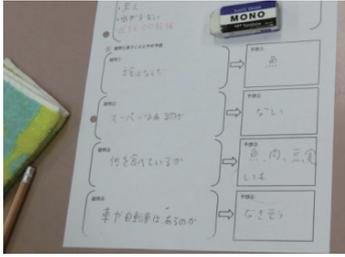
【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標（評価の観点を意識して設定）：

タンザニアと日本の様々な違いにふれ、それぞれのよさを感じることができる。

【2】単元の評価基準例	(ア) 関心・意欲・態度	タンザニアの基本的な情報を知り、生活や暮らしの様子を見たり実際に触れたりしながらタンザニアに興味をもつことができる。
	(イ) 思考・判断・表現	タンザニアの伝統工芸や音楽、食事などに触れ、日本との共通点や相違点に気づき、それぞれのよさやおもしろさを表現することができる。
	(ウ) 技能	外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努めることができる。
	(エ) 知識・理解	タンザニアの生活や文化を知ったり、スワヒリ語でのあいさつや数の言い方を理解したりすることができる。
【3】単元設定の理由 (児童/生徒観、教材観、指導観)	<p>急速にグローバル化が進み、外国の人々や文化を尊重し、共存、共生する力を育成することが必要とされている現在。文化や価値観、生活習慣や言葉の違いなど、多様性を認め合い、互いに進んで関わり合い、協力しようとする姿勢をもつことがより重視されている。</p> <p>本単元では、外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努めようとする心情を育てることをねらいとする。しかし、国際理解といっても、児童にとってはなかなか身近なこととして考えたり感じたりすることは難しい。また、真剣に考えられたとしても、そこから更に自分のこととして考えることは、なおいっそう難しい。</p> <p>そこで、児童にとって身近な存在である担任が、海外研修で実際に撮ってきたタンザニアの写真や動画を資料として用いることで、自分たちにとって身近な事としてとらえやすくし、より現実的に考えさせていきたい。また、単元を通して「パスポートカード」を活用することで、本当に外国に行った気分させたり、外国に行くための仕組みを学ばせたりしたい。</p> <p>教室の中には、学習した内容を時間毎に模造紙にまとめ掲示する。そこには、本時で使用した資料や板書、子どもたちの様子、振り返りや感想を記し、学びの足跡としてとらえさせると共に、自分たちの気持ちの変化にも気付かせたい。そして、本単元を通して知った現状や感じた気持ちを、これからの自分の将来を考える中での選択肢の1つに生かしたり、視野を広げて世界を見ていく目を養ったりし、国際理解の1歩として生かしてほしいと考える。</p>	

[4] 展開計画 (全9時間)

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1 2	<p>学・道</p> <p>・「日本のよさを伝えながら、東京オリンピックに招待しよう」スライドを見ながら、「タンザニア」がどんな国かをイメージする。</p> <p>日本の良さを見つけ、東京オリンピックの招待状にのせて伝える。</p>   	<ol style="list-style-type: none"> 1. タンザニアをイメージする。 <ul style="list-style-type: none"> ・タンザニア（アフリカ）という国がどんな国かを自由にイメージさせ、発表させる。 ・人種、生活、食事、学校、衛生面、天気などに分ける。  2. 担当がタンザニアに行き、児童の予想を確かめてくるということを知る。 3. タンザニアに伝えたいと思う「日本の良さ」を考える。 4. どのように伝えるかを考える。 5. 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けての招待状を作る。 6. 振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・ワークシート①②    <ul style="list-style-type: none"> ・招待状     

3

学活

「タンザニアってどんな国？」
タンザニアの基本的な情報を知り、生活や暮らしの様子を見たり触れたりし、タンザニアに興味をもつことができる。



1. タンザニアの基本的な情報を得る。(写真・動画)

- ・場所、首都、人口、 など

2. タンザニア〇×クイズをし、理解を深める。

- ・タンザニアは、人類最古の人骨が発見された場所である。(〇)
- ・タンザニアでは、国語がスワヒリ語で、公用語は英語である。(〇)
- ・日本の主食はお米。タンザニアの主食もお米である。(×) →ウガリ
- ・タンザニアでは、鳥肉や牛肉、豚肉もよく食べられる。(×) →宗教の関係で豚肉は食べない。
- ・タンザニアのお金には動物が描かれている。(〇)
- ・タンザニアの国旗の色の意味は、海、森林、鉱物、そして土である。
(×) →土でなく人 等

3. タンザニアの写真や動画をみて、理解を深める。

- ・町、空港、お金、学校、人、食べ物、建物など

4. 実にタンザニアの物を見たり触れたりする。(会議室)

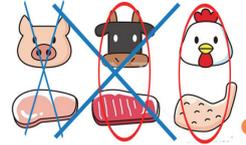
- ・カンガ ・制服
- ・カシューナッツ
- ・ウガリの粉 ・木べら ・CD
- ・絵はがき ・教科書 ・お金
- ・木彫り ・磁石 ・太鼓
- ・ティンガティンガ 等

5. パスポートカードに振り返りを書く。

- ・写真や動画
- ・パワーポイント
- ・ワークシート③



第4問
タンザニアでは、鳥肉や牛肉、豚肉もよく食べられる。



これがタンザニアのお金です。
単位は「タンザニアシリング」です。



0.学校はあるの？



- ・お土産の品々



- ・パスポートカード

4

外国語

「スワヒリ語マスターになろう」
タンザニアで使われているスワヒリ語に触れ、実際に意味を理解したり、発音したりしながら、慣れ親しむことができる。



1. 音楽を聞く。

- ・「♪ Jambo Bwana」
- ・「♪ Malaika」

2. スワヒリ語を知る。(動画)

- ・子どもたちが話しかけてくる
- ・教室でのウェルカムソング (シカモ)
- ・低学年の歌 (ンズリ)
- ・農村で食事 (キズーリ) 等

3. スワヒリ語のあいさつを知る。

- ・アリ先生のあいさつ (動画)
- ・ハバリ～ ンズリ
- ・マンボ～ ポア
- ・シカモ～ マラハバ 等

4. スワヒリ語で自己紹介ゲームをする。

- ① ハバリ～ (ンズリ)
- ② ミミニ～ ○○
- ③ クワヘリ

5. スワヒリ語の数の数え方を知る。

- ・「モジャ、ムビリ…」の動画を見る。
- ・1・2の言い方を知り、やってみる。
- ・1～20までの言い方を知る。



6. パスポートカードに振り返りを書く。

- ・CD
- 「♪ Jambo Bwana」
- ・「♪ Malaika」
- ・ワークシート④
- ・写真や動画



スワヒリ語クイズに挑戦!

Jambo(ジャンボ)

こんにちは



スワヒリ語の数字分かるかな?

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 moja(モジャ) | 8 nane(ナネ) |
| 2 mbiiri(ムビリ) | 9 tisa(ティサ) |
| 3 tatu(タトゥ) | 10 kumi(クミ) |
| 4 nne(ンネ) | 11 kumi na moja |
| 5 tano(タノ) | 12 kumi na mbiiri |
| 6 sita(スイタ) | 13 kumi na tatu |
| 7 saba(サバ) | 14 kumi na nne |

・指さし会話帳

(参考資料 1)

・パスポートカード

5

学活

「タンザニアの学校を知り、友達をつくろう」

現地の学校の様子や子どもたちの様子を知ると共に、招待状の返事を見て、友達に返事を書く。



1. タンザニアの学校の様子を知る。
 - ・校舎、校庭、授業、子ども、先生 等

2. 日本との共通点や相違点に気付く。

3. 招待状の返事を見て、友達の名前やメッセージを読む。

4. タンザニアの友達に返事を書く。(吹き出しカード)

5. パスポートカードに振り返りを書く。



- ・写真や動画
- ・招待状の返事
- ・ワークシート⑤



- ・吹き出しカード

- ・パスポートカード

<p>6 本時</p>	<p>道徳 「世界の人々とつながって」 外国の人々や文化を大切にする 心もち、日本人としての自覚 をもって世界の人々と親善に努 めようとする心情を育てる。</p>   	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「世界とつながる」の意味を考え、協力隊の存在を知る。 2. タンザニアの農村部の資料を見る。 3. 協力隊の桶田さんからのビデオメッセージを聞き、桶田さんの気持ちを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>桶田さんはどんな気持ちで「お金だけじゃないのかな・・・。」と言ったでしょう。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 4. 桶田さんからの手紙に書かれたメッセージを聞く。 5. 今までの自分とこれからの自分について考える。 6. パスポートカードに振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたしたちの道徳」 ・パワーポイント ・ワークシート⑥ ・農村部の写真 ・隊員さんの動画 ・手紙 ・パスポートカード  
-----------------	--	--	---

7

図工

「世界の伝統工芸を楽しもう」
タンザニアの伝統芸能である
ティンガティンガの作品を鑑賞
し、日本の伝統芸能と比べ、そ
のよさを伝え合う。



1. 日本の伝統工芸について知る。

- 江戸切子、輪島塗、こぎん刺し、南部鉄器、曲げわっぱ 等

2. タンザニアの伝統工芸「ティンガティンガ」を知る。



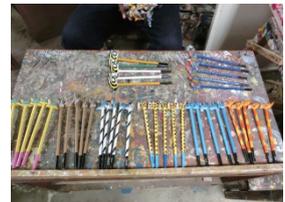
3. 日本とタンザニアの伝統工芸の違いを知り、それぞれのよさに気付く。

4. パスポートカードに振り返りを書く。

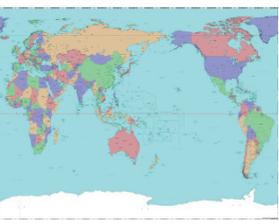
- 日本の伝統工芸の写真
- ワークシート⑦



- ティンガティンガの作品（ボード、布、コースター、鉛筆）



- パスポートカード

<p>8</p> <p>音楽</p> <p>「世界の音楽を楽しもう」</p> <p>日本や世界の音楽を聴いたり、実際に演奏したりしながら、日本の音楽と歌い方や音色の違いに気づき、互いのよさやおもしろさを感じ取ることができる。</p>	  	<ol style="list-style-type: none"> 「どこかの国の音楽でしょうクイズ」をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「♪さくら」…日本 ・「♪ゴスペル」…アメリカ合衆国 ・「♪アルファー」…中国 ・「♪ガムラン」…インドネシア ・「♪バグパイプ」…スコットランド ・「♪グリオの語りとコラの演奏」…セネガル ・「♪ヨーデル」…スイス ・「♪マサイ族の歌」…タンザニア・ケニア ・「♪日光和楽おどり」…日本（栃木） 世界の音楽と日本の音楽の特徴に気付く。 実際にタンザニアの楽器（太鼓など）に触れ、そのよさやおもしろさを見つける。 パスポートカードに振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CD（教科書付き） ・ワークシート⑧ ・タンザニアのCD   <ul style="list-style-type: none"> ・タンザニアの楽器（太鼓）  <ul style="list-style-type: none"> ・パスポートカード
--	--	---	---

9

家庭科

「世界の食事を楽しもう」

タンザニアの食事に興味をもち、実際に見たり食べたりしながら、日本の食事との共通点や相違点に気付き、互いの良さを感じることができる。



1. タンザニアの食事について知る。(写真・動画)



- 写真
- 動画 (参考資料 2)
- ワークシート⑨



2. 材料や作り方を知る。(ワークシート)

- コーンフラワー
- 木べら
- なべ 等

3. 実際に作る。



4. 実物を見たり食べたりし、日本のお米との共通点や相違点に気付く。

5. 片付ける。

6. パスポートカードに振り返りを書く。

- パスポートカード

【5】本時の展開			
過程・時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (5分)	1 「世界とつながる」の意味を考え、協力隊の存在を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・主題の「世界とつながる」にせまり、どんなところで世界とつながっているのかを考えさせる。 ・食べ物 ・輸出入 ・オリンピック・パラリンピック ・リザ先生（ALT）・青年海外協力隊 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳「わたしたちの道徳」【資料1】
展開 (33分)	2 タンザニアの農村部の資料を見る。 3 協力隊の桶田さんの気持ちを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>桶田さんはどんな気持ちで「お金だけじゃないのかな・・・。」と言ったでしょう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○タンザニアの農村部の写真を見て、自分たちとの違いに気付かせる。 ・貧しい ・物が少ない ・古い ・自分ならいやだな ・汚い ・電気が無い・火おこしが楽しそう ・着ている物がきれい ○自分の考えを自信をもって発表できるように励ます。 ・服装や表情にも目を向けさせるようにする。 ○桶田さんの動画を見て、気持ちを考えさせる。 ・お金が無くても楽しい。 ・助けているからうれしい。 ・助けたい。 ・守りたい。 ・喜んでくれて嬉しい。 ・楽しい。 ・教えたい。 ・役に立って嬉しい。 ・こわい。 ・難しい。 ・日本に帰りたい。 ・大変だなあ。 ・命の危険がある。 ○自分の考えをワークシートに書き、近くの友達と交流し、発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド【資料2】 ・タンザニアの農村部の写真【資料2】 ・桶田さんからのビデオ【資料2】
まとめ (7分)	4 桶田さんからのメッセージを聞く。 5 今までの自分とこれからの自分について考える。 6 終末	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えをワークシートに書き、近くの友達と交流し、発表させる。 ・桶田さんからのメッセージを担当が伝えることで、桶田さんの気持ちに触れさせる。 ・今までの自分との気持ちの変化に気付かせる。 ○パスポートカードに振り返りを書かせる。 ★タンザニアの文化を大切にすることをもち、世界の人々と親善に努めようとする気持ちをもつことができたか。 ・わたしたちの道徳 P176「世界の人々とつながって」を全員で音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート⑥【資料3】 ・手紙【資料4】 ・パスポートカード

【授業実践の様子】



<「世界とつながる」とは>



<ビデオを見る様子>



<発表する様子>



<発表する様子②>



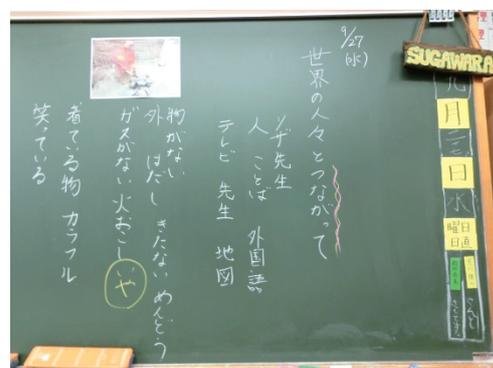
<自分の考えを伝え合う様子>



<桶田さんからの手紙を読む>



<板書：左>



<板書：右>

【6】 本時の振り返り

今回は、道徳の国際理解をテーマとして、副読本の題材にうまく繋げながら資料・教材作成を行い、展開した。「外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努めようとする心情を育てる」というねらいに即して進めたが、「青年海外協力隊」という途上国を支援する存在を初めて知る児童にとって、隊員の皆さんがどのような気持ちで途上国にいるのかを考えるという内容は少し難しかったようにも思えた。そんな中で、桶田さんの「お金だけじゃないのかなあ…」という言葉に対し、「お金がなくても幸せなのでは」と考えた児童が多数いたが、「なぜそう思うのか」「本当にそうなのか」「幸せとは何なのか」という深い部分までを児童なりに考えることはできたようだ。

【7】 単元を通じた児童生徒の反応 / 変化

授業を行っていく中で、予想以上に児童がアフリカに興味をもってくれたことが一番の驚きである。「先生、タンザニアの授業はまたやらないの?」と聞いてくる子や、「招待状の返事に、また返事を送りたい」という子までいた。野木町の祭りで使う提灯の絵付けをした際、ティンガティンガに描かれた動物を自分から描いた児童もあり、日本とタンザニアのコラボレーションを自主的に考えていて驚いた。私が思っていた以上に児童の心は柔軟で、子どもたちなりに外国の人や文化を知ろう、理解しようという気持ちがあるのだなと感じ、私達教師が国際理解の「きっかけ」を与えてあげることが大切なのだと気付かされた。

【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲】

【途上国・異文化への意識の変容について】

(授業前)

タンザニアという国の前に、アフリカ大陸に関しての知識はまるで無かった。アフリカの生活を予想させた際も、藁で出来た家に住み、動物を狩りながら裸足で生活しているというようなイメージをもって、自分たちとはまるで正反対な生活を送っていると思っていたようだ。そして、自分たちとの繋がりは全く感じておらず、無関係といった印象だった。また、「行ってみたいとは思わない」「先生生きて帰ってきてね」等と、危険なイメージもあったようだ。

(授業後)

子どもたちの感想の中から分かった事として、思っていた以上に自分たちとの共通点が多いという事、そして相違点に関しては、それらに興味を持ち、そのよさに気付く児童が多かった。それと同時に、日本のよさを改めて感じ、今後どう生きていくのかを考えている児童もいた。

6時間目の道徳の授業の際に、「世界とつながるってどんなことだと思う?」という教師の問いに対して、ALTの名前を言ったりオリンピックを思い浮かべたりする児童がいる中で、「菅原先生!」と発言した児童がいた。自分たちが世界とつながることを考えた時に、そのきっかけとして「担任の先生」を挙げたことに驚きと喜びを感じた。

また、「先生、CMにウガリが出ていたよ!」とテレビのCMでアフリカの人や家、食べ物が出てきたことを嬉しそうに伝えてきたり、「昨日のテレビ番組でタンザニアの近くのウガンダが出てきたよ。」とアフリカが学校での話題となったりするなど、以前よりも外国が身近なものとしてとらえられる児童が増え、関心の高まりを感じた。

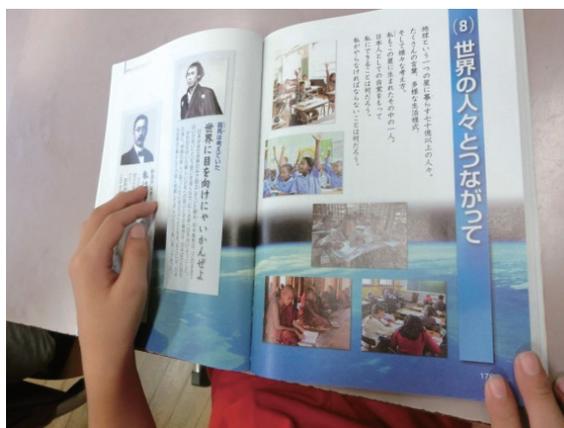
【自己評価】

1. 苦労した点	一番はやりたい授業があっても、それに必要な教材が手に入りにくかったことである。現地に行くにあたり、授業をすることを念頭に置き、お土産や教材調達をした方がよいと感じた。
2. 改善点	発達段階に応じて授業を展開していくが、私の担当は小学校高学年なので「知る授業」や「体験する授業」だけでなく、もう少し「考える授業」があってもよかった。そのためにも、「生活」「食事」「学校」「文化」等に関する授業をさらに詳しく行い、その国の現状をしっかりと理解させた上で、日本や自分たちとの繋がりや、本当の幸せについて、今後の自分たちの生き方等を考えさせる時間がとれたらと反省が残った。
3. 成果が出た点	前述したように、アフリカを身近に感じるようになった児童が増えたことである。身近な人が現地に行き、現地の人や物、状況を紹介し生の声を届けるということが、ここまで児童に影響するものかと驚いた。
4. 備考（授業者による自由記述）	

添付資料：

【授業実践で使用した資料】

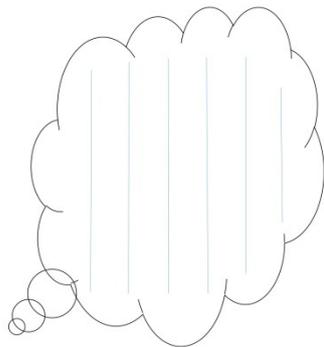
① 道徳 副読本【資料1】



② スライド【資料2】



③ ワークシート【資料3】



世界の人々とつながって

④ 手紙【資料4】

④ 手紙【資料4】

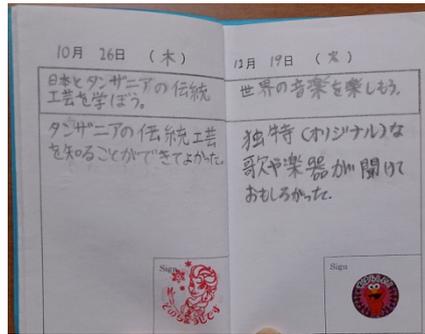
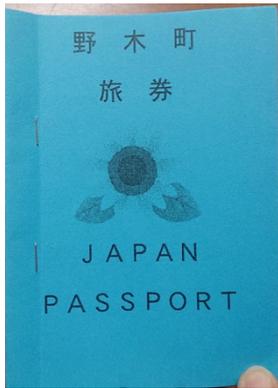
野木小学校のみんなへ

野木小学校の5年1組のみなさん、こんにちは。桶田勝博です。
 協力隊員になって、よかったことは大きく2つあります。
 1つ目は、「いろんな人と出会えること」です。困った時に、タンザニアの人々がたくさん助けてくれました。会話で困った時には、私の代わりに話してくれ、ケガをした時には「ボレ」（お大事に。）と声を何度も掛けてくれました。ある人は野菜をたくさん分けてくれ、ある人は荷物を持ってくれ、たくさんたくさん助けられました。
 2つ目は、「いろんな経験と出会えること」です。いろいろな経験の中でタンザニアの文化などに触れることができるのがとても楽しかったです。タンザニアは日本より貧乏ですが、日本人より幸せそうにも見えます。タンザニアの人はちょっとした失敗やうまくいかないことがあっても「ハムナシダ（問題ないさ）」と言って笑い飛ばします。言いたいことも言うし、よく歌い、よく踊り、本当によく笑います。こういう人たちと触れ合える経験は日本ではできません。やってよかったなあと心から思いました。

ラハ・レオ小学校 桶田勝博

【全授業で使用した資料】

① パスポートカード



<パスポートカード：表紙>

<パスポートカード：中>

② 教材



③ ワークシート

月 日 () 年 組 番 名前 ()

初めて

1 タンザニアのイメージ (自由に書いてみよう。)

2 疑問に思ったこととその予想

疑問①	予想①
疑問②	予想②
疑問③	予想③
疑問④	予想④

①

月 日 () 年 組 番 名前 ()

初めて

3 タンザニアの人達と、日本のどんな国(県)を比べてみましょう。

4 それぞれ、どんな国で (どんな県で) 住みたいですか。

5 両国共通でやってみよう (2週間) 目標ですが。

6 思ったこと

②

月 日 () 年 組 番 名前 ()

初めて

7 タンザニアってどんな国?

1 クイズに挑戦!
得点正解できたかな? 問/12問

2 今日あったこと・思ったこと

3 思ったこと

4 思ったこと

③

月 日 () 年 組 番 名前 ()

初めて

1 スワヒリ語クイズ!

英語	スワヒリ語	日本語
Hello.	Jambo.	
How are you ?	Habari ?	
I'm fine.	Nzuri.	
See you.	Kwa heri.	
Thank you.	Asante.	
You're welcome.	Karibu.	
I'm ~.	Mimi ni ~.	
My name is ~.	Jina langu ni ~.	
Yes.	Niye.	
No.	Hapana.	
It's OK.	Hakuna matata.	
Delicious	Kizuri	

2 気付いたことや思ったこと

④

月 日 () 年 組 番 名前 ()

初めて

1 タンザニアと日本の学校を比べてみよう。

日本と似ているところ	日本とちがうところ

2 タンザニアの友達の名前を書こう。
() 小学校の () さん

3 招待状の返事を書く。タンザニアの友達にメッセージを書こう。
() カードの中に書こう。(スワヒリ語が使えるなら)

4 気付いたこと・思ったこと

⑤

月 日 () 年 組 番 名前 ()

初めて

1 タンザニアの主食は () といわれます。(東アフリカを中心とした国々の主食です。)
・日本で言う () のようなもので、 () や () と一緒に食べます。

<作り方>
・ () や () の粉を、潰した () でぐつぐつ煮ます。
・ にごかく () 。
・ 煮まったら、しばらく ()。(火を止めて待つ)
・ 食べ方
・ 粥状によってちがいますが、イスラム教の人々は、 () で食べます。

2 実物につがいを片だけ取り見て、気付いたことを書いてみよう。

見た目やにおい	味

3 思ったこと

⑥

月 日 () 年 組 番 名前 ()

初めて

1 世界の音楽には、いろいろな声や楽器の表現があります。どんなおもしろさがあるかな。まずは書いてみましょう。



① () / 国名 () ...

② () / 国名 () ...

③ () / 国名 () ...

④ () / 国名 () ...

⑤ () / 国名 () ...

⑥ () / 国名 () ...

⑦ () / 国名 () ...

⑧ () / 国名 () ...

⑨ () / 国名 () ...

⑩ () / 国名 () ...

⑪ () / 国名 () ...

⑫ () / 国名 () ...

⑬ () / 国名 () ...

⑭ () / 国名 () ...

⑮ () / 国名 () ...

⑯ () / 国名 () ...

⑰ () / 国名 () ...

⑱ () / 国名 () ...

⑲ () / 国名 () ...

⑳ () / 国名 () ...

2 今日あったこと (歌い方・音色・音の響きなど・日本とのちがいなど)

⑧

月 日 () 年 組 番 名前 ()

初めて

1 日本とタンザニアの伝統工芸を比べてみよう。

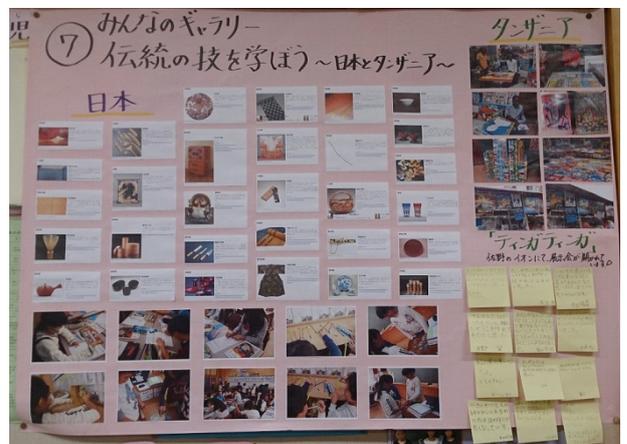
日本の伝統工芸	タンザニアの伝統工芸

2 思ったこと

⑨

(⑥は公開授業のため別紙)

④ 模造紙



参考資料：

- 1) 旅の指さし会話帳 60 ケニア（スワヒリ語）／株式会社 情報センター出版局
- 2) ウガリの作り方／SANY0005 https://youtu.be/_N-b7dwdO4
- 3) Jambo Bwana (音源)／Jmbo Bwana-African music Beautiful World Africa <https://youtu.be/JIPlx1Jk3sY>
- 4) Malaika (音源)／Malaika Miriam Makeba <http://www.worldfolksong.com/songbook/africa/malaika.html>